

テーマ：社会課題に取り組む働き方



はたらくしろくま

- 「はたらくこと」をテーマに
つながる居場所づくり-

NPO団体はたらくしろくま
代表 青木久美子



自己紹介



1972

◆ 岩手県で生まれる

◆ 明治大学政治経済学部卒業・2年就労後、明治大学大学院法学研究科前期課程修了

◆ 東京にて就職・結婚

第一子出産

◆ 夫の仕事に帯同し高知県へ 高知労働局に入職

第二子出産

◆ 夫の仕事に帯同し香川県へ 香川労働局に入職

2018

◆ NPO団体はたらくしろくま立ち上げ

今日の 講演内容



01 活動のきっかけ

02 はたらくことをテーマに
つながる

03 ヒト・地域・企業が
共にHappyになるように

厚生労働省

労働基準監督署

年次有給休暇が
取れない

労働条件通知書を
もらっていない



36協定を超えて残業さ
せられる／残業代が払
われない

通勤途中に事故にあった
／仕事中に怪我をした

労働基準法・労災保険法....

労働局 雇用環境・均等局（室）

育児休業・介護休業・
育児短時間勤務制度が
取れない

パワハラ・マタハラ・
セクハラ・就活セクハラ

パートだからって
不合理に賃金が安い

妊娠したら解雇された
・パートに変更された



男女雇用機会均等法・育児介護休業法・
パートタイム有期雇用労働法・労働施策総合推進法...

電通過労死事件



2015年12月、入社から約9ヶ月後、社員高橋まつりさんが過労自殺

- ・自動車保険とFX証券のデジタル広告
- ・過労自殺の1ヶ月前の時間外労働は130時間56分に及んでいた
- ・パワハラ・セクハラ
- 「髪がボサボサ」「女子力がない」
- ・懇親会の幹事業務が訓練の場

(1991年の事件24歳の男性社員大嶋一郎さんが入社2年目に過労自殺した経緯もある。3日に1度は徹夜という「常軌を逸した」長時間労働が原因。2000年に最高裁が電通の責任を認める判決を下した。)

防ぐことはできなかったのか・・・



家庭

職場



サードプレイス・居場所

職場と家庭以外に、
「はたらくこと」について、気軽に
語り合える場所をつくりたい。
こり固まった心に、ずっと風を通す
ような対話の場を。

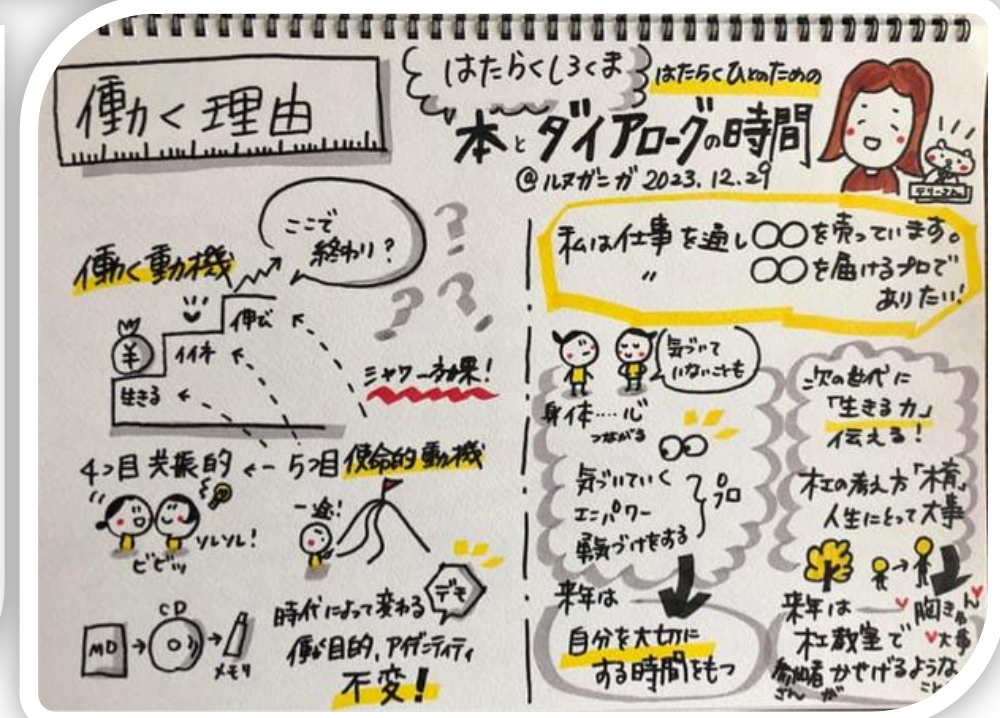
街中の本屋さんにて『本とダイアログ』

- ・定期開催
- ・街中 会社帰りにふらっと寄れる
- ・初めましての方が参加しやすい

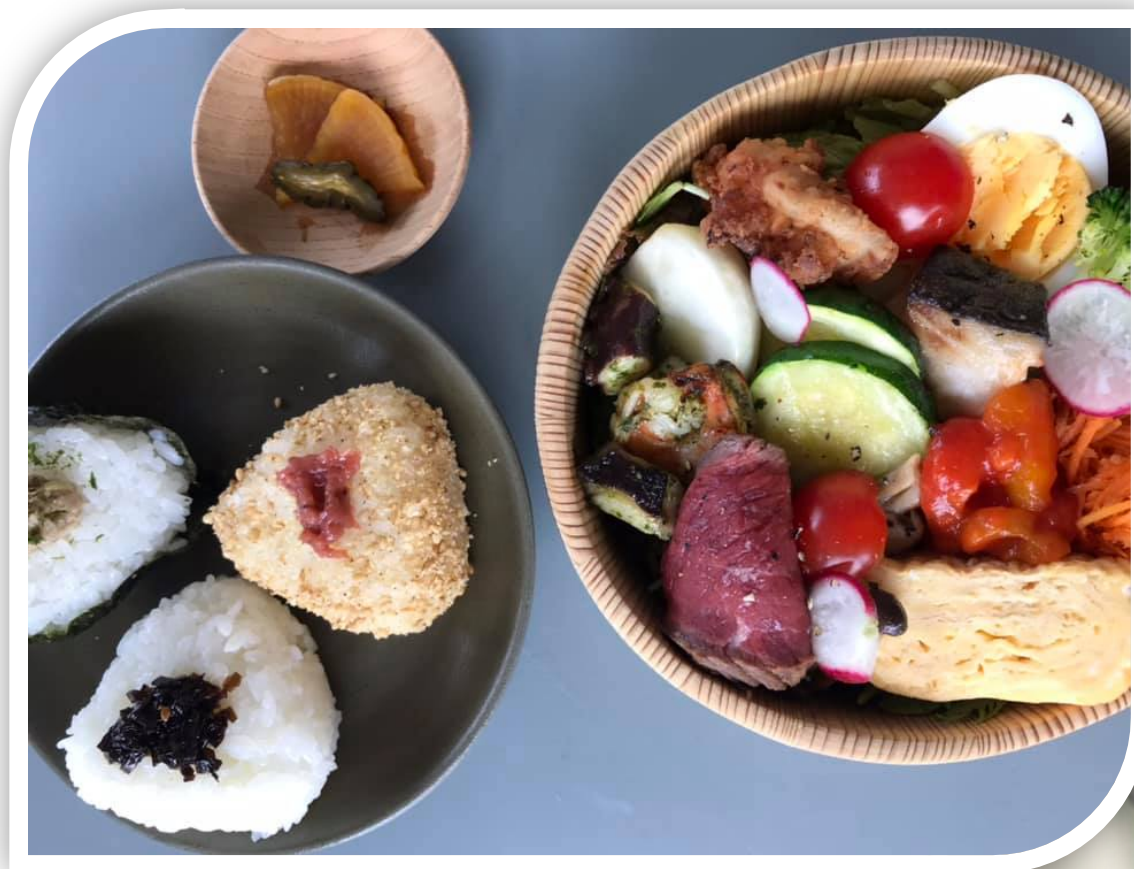


「話す」ことは
「放す」こと。
忙しい時ほど、あえて人と話す時間をつくりに行こう。
話すことで、心のもやもやを、ペリペリっと剥がして。
違う視点が見えてきて、前に進めるはず。

対話を通して寄せられる困りごと・モヤモヤ



デザインの力で心地よく「はたらく」



素敵カフェを数店舗経営するデザイナーさんから、心地よく感じるデザインを学んで職場で活かす。

生態系から学ぶ「はたらく」



踏まれることで種を拡散させるオオバコの生存戦略等、植物や生物・宇宙から「はたらく」を考える。

Active Book Dialogue☆ 本と対話を楽しむ

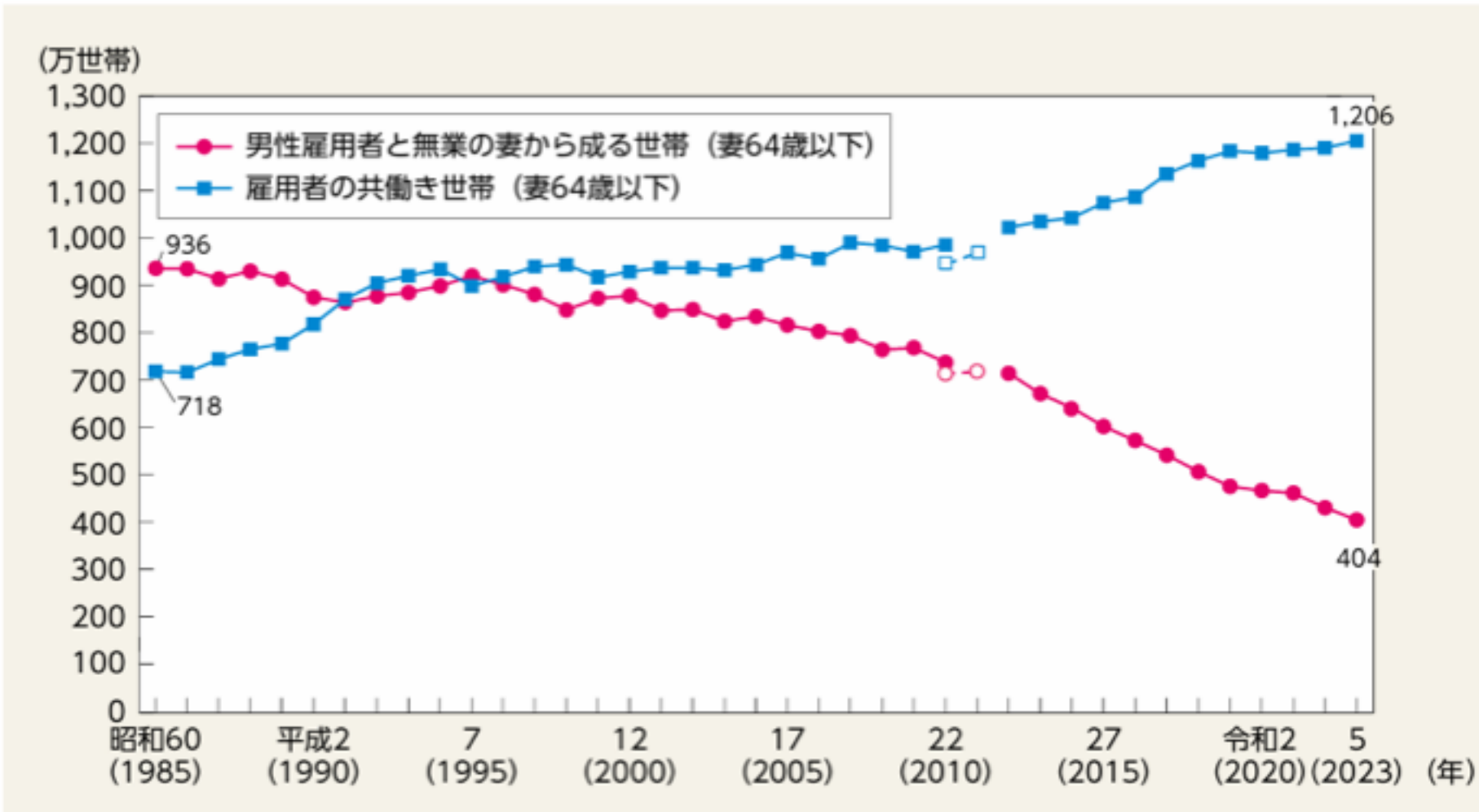


一冊の本を分担して要約・プレゼン。
全員で一冊理解した上で、感じたことや気づきを対話します。
『他者と働く』『7つの習慣』『繊細さん』…



ライフスタイルの変化

共働き世帯数と専業主婦世帯数の推移（妻が64歳以下の世帯）



男女共同参画白書 令和6年版

育児休業取得率

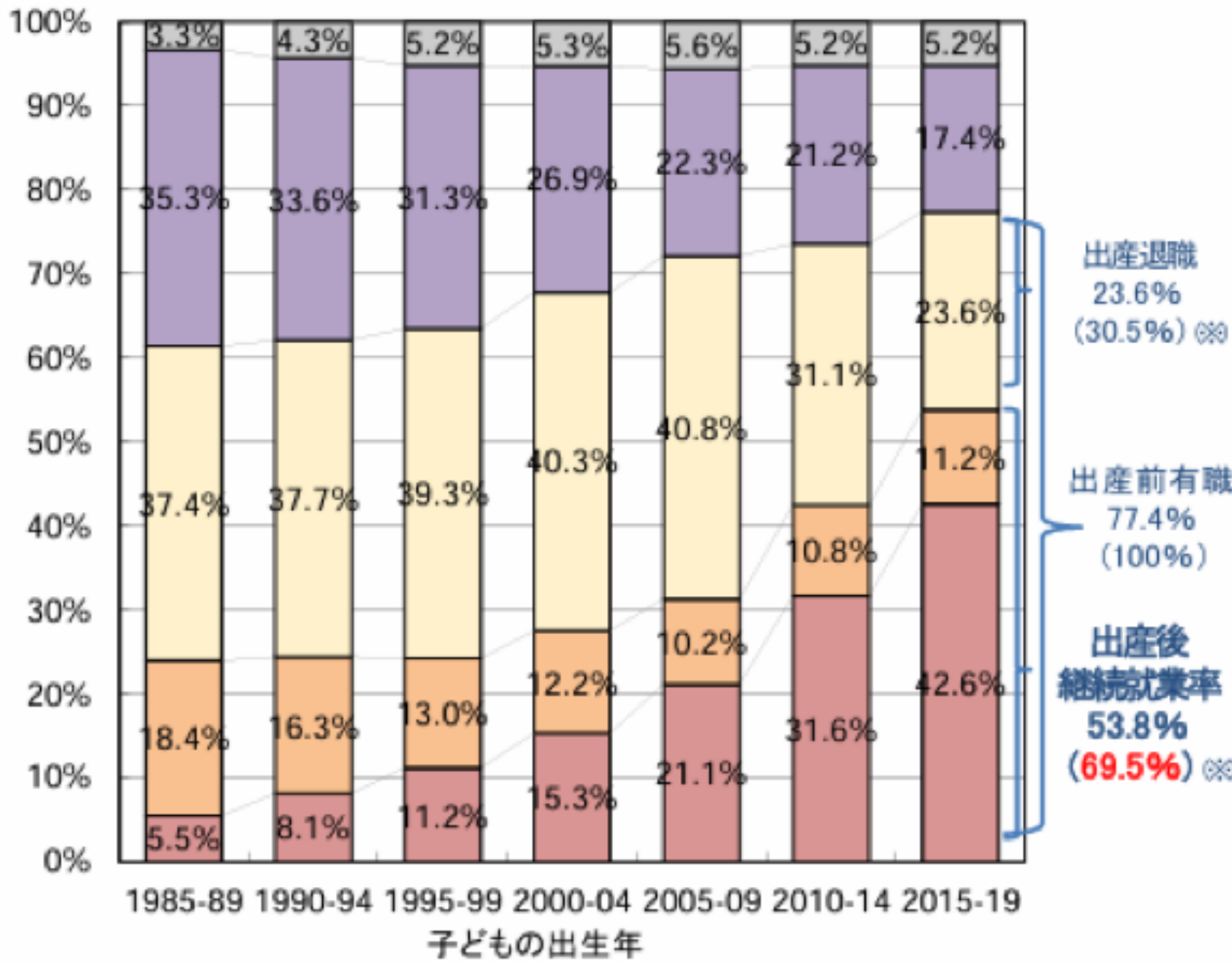
女性：84.1%（前年度80.2%）

男性：30.1%（前年度17.13%）

令和5年度（2023年度） 雇用均等基本調査

政府目標：第1子出産前後の女性の継続就業率 70%（令和7年）

第1子出生年別にみた、第1子出産前後の妻の就業変化



（※）（ ）内は出産前有職者を100として、出産後の継続就業者の割合を算出

（注1）就業変化は、妻の妊娠判明時と子ども1歳時の従業上の地位の変化をみたもの。
（注2）上記グラフは、対象期間（例：2010～2014）中に出産した女性の就業変化を表している。

【出典】国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査（夫婦調査）」（2021年）

**結婚・出産・育児・介護・病気など、
様々なライフイベントを避けて、はたらくことを
語ることはできない。**



**しろくまが考える「はたらく」とは、お仕事だけ
でなく、家事や育児・介護を含めたまるっと命を
支える営みすべて。**

**私たちは圧倒的に哺乳類である。動物である。ネ
クタイを締め、あるいはヒールを履いて玄関を開
けたら、効率性を是とする社会に素知らぬ顔で歩
んでいくのである。**

育児と「はたらく」



子どもを育てるということは本当に大変。仕事との両立となると、肉体的にも精神的にもタフさが必要。ガハハと笑って共感して泣いて、前に進める、そんな対話の場です。育児期間はブランクではない、段取り力・コミュニケーション能力をアップさせる鍛錬の時間と捉えて。



障がいを抱えた子とともに「はたらく」



保育所に受け入れられない障害児を抱えた親は、会社勤めを諦めなければならない社会。声なき声を聴く。

「移住妻・転勤族の妻」の働き方を考える



今日お伝えしたいこと

1. 公的支援を有効に使おう！
2. 自分に合った働き方を見極めよう！
3. 偶然をチャンスに変える体質になろう！



偶然をチャンスに変える体質になろう！

【偶然を味方につけるための心構え】

- ①好奇心
- ②粘り強さ
- ③柔軟性
- ④楽観性
- ⑤リスクテイク



転勤妻が、その土地になじみ働くことの困難さ、見逃されてきていたよね。
転勤妻がつながる場づくり。



地域に目を向ける



ひとり親世帯をつなげる・居場所をつくる



長屋みたいにみんなで子育てできたらいいな。
つながることで救われることがある。



振袖を、着たいと言えなかったあなたへプロジェクト



ひとり親世帯の伴走支援を始める



シンママさんを、某市の福祉相談員さんにつないで、同行支援。パントリー物資を持って。
生活保護の申請は、世帯全体の預貯金10万円以下、車も売却しなきゃ難しいって。
10万は、申請が下りるまでの生活費として。
足となる車まで売って、本当に丸裸にならないと、申請って難しいんだ。
健康で文化的な生活を得るって、とても厳しい…
働けないのは病気のためで、
障害年金や介護保険の制度を検討するけど、
申請にはとてつもないパワーと知識がいる。
社会の安全網から落ちるのは割と簡単なのだ。

始まります (2022.8~2023.1)

ひとり親の方・離婚を検討中の方の困りごとに寄り添い、伴走し、継続的につながります！
(香川県内の方無料)

FREE

サポート例
・対面またはオンラインでの相談対応
・各種公的支援制度の説明
・市町村や社協、法テラス、母子センター、ハローワークなど公的機関への付き添い
・働き方、キャリア支援
その他、状況に応じた柔軟なサポートを行います。

3hours・3times
1回あたり3時間利用できるサポートを、3回受け取ることができます。

STEP1 まずは、どんな事に困っているのか、お話をとことん聴きます。そして、解決に向けて、どんなことができるか一緒に考えていきます。各種支援制度の情報提供なども可能。2時間程度、オンラインでも対応できます。

STEP2 必要に応じて、市町村や社協、法テラス、母子センター、ハローワークなどに一緒に訪問します（同行支援）。3時間まで対応可能です。

STEP3 その後の経過について、ご希望に応じてお話を伺います。3か月から半年後を目途に2時間程度、オンラインでも可能です。

supporter

田尾 真都香
ニートやひきこもり等の就労支援や学生の就職支援に従事。持ち帰りを引き出し、「自分らしく」歩みをすすめていけるようなカウンセリングがモットー。趣味はカラオケ。一児の母で子育て奮闘中。公益心組織、国家資格キャリア・コンサルタント。

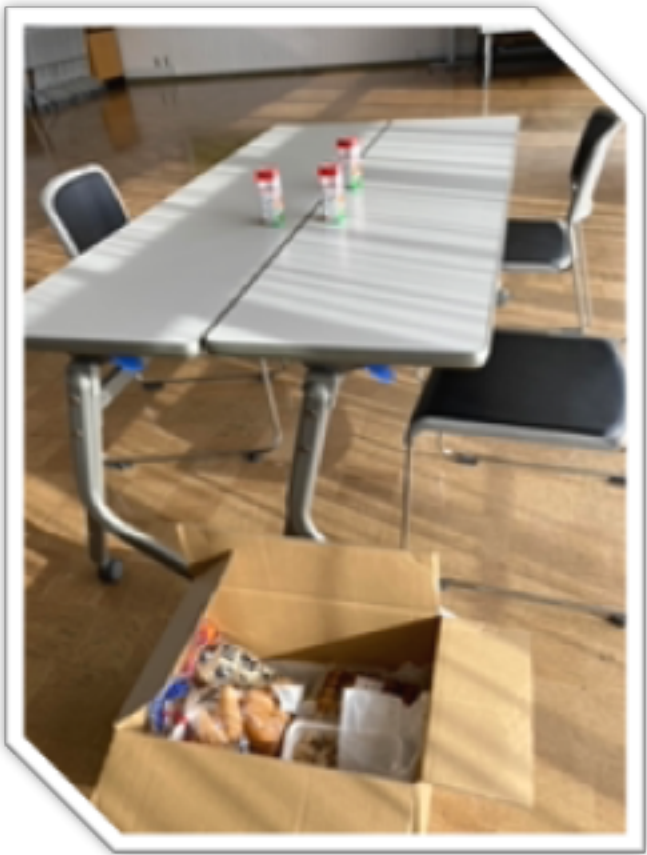
高木 優子
離婚や子どもの登校しぶりを経験したことで、アドラー心理学・コーチング・HSP講座を受講し資格を取得。現在はHSPの方やHSC・不登校児の保護者の方を対象とした個人セッションやお話を開催している。

大川 裕子
社会福祉協議会で約20年勤務。社会福祉士、精神保健福祉士、主任介護支援専門員として、生まれる前から亡くなるまで、様々な方々から多様な相談を受け、対応してきました。家計の見直しも含めてご相談にのります。

青木 久美子
「はたらく」ことに関するお悩みごと全般（ハウスメント・育児との両立・雇止めされそうなど）まずはしっかりお話を伺います。親も子も、ともに幸せになれる働き方と一緒に考えましょう。国家資格キャリア・コンサルタント。

■主催 NPO団体はたらくしろくま (担当 青木)
■お申込み・お問い合わせ SNSメッセージ等からお気軽にどうぞ。簡単に相談ごとをお伺いし、初回の相談日程を調整します。
@hatarakushirokuma・LINE (ID 112217ao)・terui0216@icloud.com
■赤い羽根共同募金様から助成をいただき、実施しています

Instagram Facebook はたらくしろくま



地域の「子ども食堂」と一緒に活動する



人が誰かを思う気持ちが循環して、誰かがふっと楽になったり、あたたかなつながりができたり、そんな場面に出会うことが幸せで、NPO活動をしている気がします。

市民向け講座を企画・実施する



「今、考える。あなたの「働き方改革」～地域や家庭を大切にしながら、健やかに、しなやかに働くために～」
「世界を変えるために起業すること」等



「世界を変えるために起業する」
ということ@麦縄の里

～社会起業家という生き方～



地域や環境、世界をより良くするためにビジネスを興す人々が、麦縄の里に集まっています。起業家の方の想いを知り、自分の理想の社会に近づくために、起業で解決する方法を考えてみましょう。

講師：麦縄の里 代表 まさご屋2代目店主 真砂 泰介さん

こんな方は是非ご参加ください

- ・副業としてなど、身の回りの小さなことからビジネスで変えていきたい方
- ・環境・地域をより良くしたいと考えている方
- ・とりあえず話を聞いてみたい方

参加費：2000円（学生さん無料）飲み物付き
定員：10名程度



11月21日
(SUN)

15:00-17:00

場所：麦縄の里
まさごや（香川県高松市東
楠田町1361）

令和6年度 高松市男女共同参画センター市民企画講座

主催：NPO団体はたらくしろくま / 高松市男女共同参画センター

community cafe for Society Entrepreneurs

【女性の就労・自立支援】【地域コミュニティの形成】【女性のエンパワーメント】
【ソーシャルビジネス・ライフビジネスStartUp】

「自分の得意ごと・気づきを活かして小さく起業・活動してみよう」
～世界一やさしい事業計画の立て方～



たとえば、自分の得意ごとを誰かに教えたり、環境に優しい生活スタイルを広めていくこと。育児や介護・病気や障害などのライフイベントを経て気づいた視点を社会に発信していくこと。独立して専門スキルを社会にもっと自由に還元していくこと。課題解決のために地域にコミュニティをつくっていくことなど。自分の得意ごとや気づきを活かして、小さく起業・活動してみませんか。きっと、自身の世界を広げ、周りの人や地域、社会を豊かにしていくはず。

ビジネスで誰かを幸せにすること

市民向け講座（まちづくり・チームビルディング）

自分ごとから始めるまちづくり ～男女共同参画の視点から～

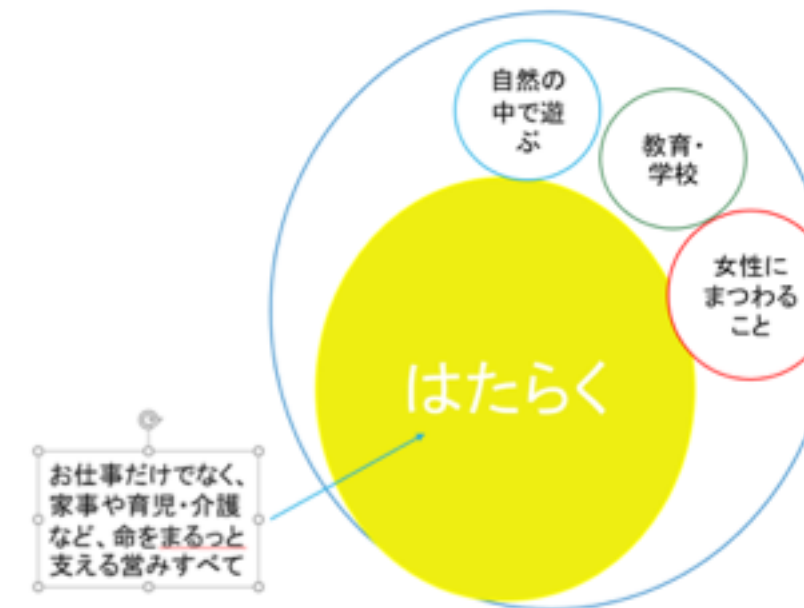
NPO団体はたらくしろくま
代表 青木久美子



自分ごとから始めるまちづくり

1. 「わたし」をどんどん掘り起こす
2. 私の興味・関心・ワクワク・モヤモヤ
3. ビジョンとミッション
4. 私の行動宣言

青木 久美子 のたまご





企業に目を向ける



会社を超えて女性管理職をつなぐ



企業研修の講師を務める



ハラスメント対策、女性活躍、育児・介護と仕事の両立、ダイバーシティ、LGBTQ相談員研修 他



持続可能な企業経営を
女性活躍の視点から考える

令和2年1月28日 火 13:30-16:30 (13:00~受付開始)

サンメッセ香川 中会議室

先着30名 定員に達し次第、募集は終了いたします。

対象者 企業経営者及び人事労務担当者

参加費 無料

セミナーの参加には事前申込みが必要となります。申込みは1月20日(月)まで。TEL、FAX、メール、QRコードのいずれかの方法でお申込みください。詳細は裏面をご確認ください。

講師 青木久美子さん (代表取締役社長、株式会社青木久美子)

講師 本山 雅英さん (SDG'sイニシアチブ推進プロジェクトリーダー、株式会社SDG'sイニシアチブ推進プロジェクト)

主催 香川県商工労働部労働政策課

協賛 NPO法人わははネット

TEL 087-822-5580 (受付時間 10:00~17:00) メール wahaha@npo-wahaha.net

人的資本経営とダイバーシティ ～女性にやさしい会社から、 誰もが働きやすく働きがいのある会社に舵を切る～



NPO団体はたらくしろくま
代表 青木久美子

瀬戸内中讃定住自立圏 女性活躍推進協議会主催 2024.11.11

女性がイキイキ活躍できる職場に！

平成30年度
働く女性活躍
応援セミナー
業績アップ
人材確保
(経営者・人事・労務担当者向けセミナー)

全国の女性活躍の取り組みを分析、推進してきた二人のスペシャリストから、事例を交えてより具体的な取り組みのヒントをお伝えします。

参加無料

1/23 土 サンメッセ香川 中会議室 13:30-16:30 (受付 13:00~) 定員 30名程度

2/8 金 ユー・プラザうたづ 研修室 18:00-20:30 (受付 17:30~) 定員 30名程度

講師 山本 清子さん (株式会社山本清子代表取締役社長、元香川県立大学学長)

講師 青木久美子さん (NPO法人わははネット代表取締役社長、元香川県立大学学長)

講師 本山 雅英さん (SDG'sイニシアチブ推進プロジェクトリーダー、株式会社SDG'sイニシアチブ推進プロジェクト)

講師 青木久美子さん (NPO法人わははネット代表取締役社長、元香川県立大学学長)

講師 本山 雅英さん (SDG'sイニシアチブ推進プロジェクトリーダー、株式会社SDG'sイニシアチブ推進プロジェクト)

個別相談会 女性の雇用や、活躍のための環境整備について相談のある企業への個別相談を行います。

● 結局のところ



はたらくひと

不可分。
つながり
合っている。

三者が
ともに豊か
になること
が必要

地域・家庭

企業・職場





わたしたちの ビジョン

NPO団体 はたらくしろくま

「はたらく」ことを見つめ、個人・企業・地域がともに豊かになる社会を目指します。
しろくまが考える「はたらく」とは、お仕事だけでなく、育児や介護を含めた**まるっと命を支える営みすべて**。誰一人とりこぼされることなく、ふとした瞬間に幸せを感じられる、そんな日々を過ごすことができるよう活動します。

1 ゆたかにはたらく

- ・「はたらく」をテーマにした各種ワークショップの開催（育児と仕事・ダイバーシティ他）
- ・超読書会ABD（アクティブブックダイアログ）の開催
- ・しろくまソーシャルエンジン（社会起業・活動家やフリーランスなど）のコミュニティ運営
- ・はたらくひとのサードプレイスづくり（本屋ルヌガンガさんでの**本と対話**の会）



2 とりこぼさない

- ・シングルマザー（ファザー）とその子どもたちの居場所づくり・フードパントリー・スーツレンタル・就労支援など（しろくまNAGAYA）
- ・ピアサポートやキャリア支援、行政との連携
- ・はたらくことに難しさを抱える方への寄り添い、居場所づくり、オープンダイアログの実践



大切にしていること

心の芯からの対話ができる、心地よい居場所づくり。

「話す」ことは
「放す」こと。



しろくまの講師・アドバイザー派遣を通して

講師受託

講師料の1割をしろくまに寄付していただくことで、活動費に充てることができます。



とりこぼさない

はたらくことに困難を抱えた方に寄り添い・サポートします。

企業や地域

企業研修などを通して
「私の個性や能力が認められ、ここに居場所があり尊重されている」と職場・地域の誰もが感じている状態を目指します。



おわりに

同じ組織に長年いると、どうしても同質的な考え方に染まってしまう。
突然の不本意な異動や人間関係のつまづき、
困難なできごとに遭遇することもある。
思ったように社内で自分が評価されないこともあったりする。
ライフイベントももろもろあるけど、
女性の場合は特に、結婚・出産によってライフスタイルに大きな影響を受けやすい。



どんな場面にあっても、いろんな価値観にふれる中で、ふわっと心を動かす風を吹かすことが必要なのだ。次の行動につながる風を。風を通す余白を、必ず心に持っていてくださいね。

はたらくしろくまは、心の芯からの対話を通して、心にぽつんと残った言葉がいつかむくむくと発芽し新しい行動につながる、そんなあたたかでさわやかな風が吹く居場所をつくり続けていきます。



2024.12.5